

### ◇トピックス◇

### 障がい者スポーツ大会／研修の様子／行事の様子／熱中症について／スケジュール

#### 障がい者スポーツ大会 ～卓球大会～

6月9日、浜田市の島根県立体育館にて障がい者スポーツ大会の卓球競技会がありました。清風園からは1名、女性利用者のN様が参加されました。

就労継続支援B型で日々作業に取り組んでおられるN様ですが、作業後はいつも卓球の練習に励み、時間を見つけては体力づくりのためにウォーキングをされるなど、この大会のために努力を重ねてこられました。N様は昨年も卓球大会に参加されましたが、ある選手に1セットも取ることが出来ずストレートでの敗戦を喫してしまいました。3位に終わり悔しい思いをされました。その悔しさをモチベーションにして練習を続けてこられたというものでした。



試合当日を迎えました。1回戦は不戦勝で勝ち上がり、準決勝に進出しました。準決勝の相手は、昨年ストレート負けで悔しい思いをした選手でした。



試合が始まりました。しかし、1セットと2セットを相手に取られてしまいました。そこで、回転をかけたサーブやショットを織り交ぜることを意識し3セット目に挑まれました。そして3セット目をN様が奪取しました。3セット目を先取で勝利ですが、4セット目を相手に奪われ、敗戦となりました。

それでもN様は、今まで全く勝てなかった相手に1セットを取れたことがとても嬉しかったと同時に自分の卓球のレベルが上がったことを実感することが出来たそうです。試合後は応援に来ていた利用者様やご家族様から労いの言葉をかけていただきました。2年連続の3位という結果となり、賞状をもらわれました。努力は裏切らないことを自身で体験したN様は、今後も練習に励み来年の目標である勝利を目指します。



# 研修報告

## 発達障がい講演会

6月1日、『自閉症スペクトラム症への支援』と題して、川崎医療福祉大学医療福祉部子ども医療福祉学科の重松孝治氏を講師に研修会が行われました。

この研修は、発達障がいの方を支えるご家族や支援者、あるいは、関係機関の職員等を対象に発達障がいに対する知識や理解を深め、支援の輪を広げることを目的として実施されました。

会場には、教員や保育士、福祉関係者から一般参加者まで、大変多くの来場者が溢れており、関心の高さが伺えました。

以下、参加者の感想です。

①発達障がい者の理解や支援についての再確認と新しい情報を得る目的で参加しました。自閉症は生まれもった脳の構造や機能の違いにより、理解の仕方が他者と違うため、本人にとって理解ができる適切な方法を見つけて支援することが必要であると思いました。

このことを説明するのはとても難しく、一度聴いただけで理解できるものではないと思えました。また、今まで「3つ組みの障害」として、社会性、コミュニケーション、想像力それぞれの障害について説明されてきましたが、社会性とコミュニケーションは統合されていました。

自閉症の捉え方の難しさを象徴していると認識しました。以前までの認識と今回の研修では違っている部分もあり、今後変わっていくであろうこれらの情報を含めて、最終的に利用者さんの支援に活かせるよう、関わる職員に伝えていきたいと思えました。

②自閉症スペクトラム症についての文献等を読んで学んできましたが、難しい言葉で説明されたものが多く、なかなか理解することが難しかったです。

重松先生の講演は、人を引き付ける話術と貴重な経験からの実例をもとにされた内容で、どんどん引き込まれていきました。

印象に残ったのは、支援者は自閉症の人の問題行動(トラブル)を無くそうとする支援ではなく、将来社会に出られた時を見据え、他者に対してできることを一つずつでも増やしてあげられる支援や生きづらい生活から生き易い生活ができるように支援していくことが大切だと言われたことでした。



その人の方法に合わせた支援を見つけ実践し、ご家族と共有していくことが支援者の役割だと思いました。

そして、定型発達の人と自閉症の人達がお互いに歩み寄っていく中で、私達支援者は、その橋渡し役を担えるようにしていくことが大切だと思いました。未知の内容も多く、今後も自閉症スペクトラム症について学んでいき支援に活かしていきたいです。



## 行事の様子ご紹介 (春〜夏)

### \*出雲大社へ外出 男性ユニット

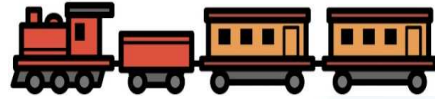
6月5日 (水) つばきユニット、すばるユニット合同15名の利用者様での外出を計画し、出雲大社に出掛けました。天候も快晴となり、良い外出日和となりました。

最初に、旧大社駅へ行きました。駅のホームでブルーシートを広げて昼食をとりました。いつもと違った雰囲気の中で食べた弁当の味は利用者さんの心に残ったことと思います。

食後には、腹ごなしにゆっくりと駅のホームを散策しました。ホームの奥にはかつて実際に走っていたSLもありました。乗り物が好きな利用者様も多く、本物のSLに皆様興奮された様子でした。実際に中に入って遊ばれたり、満喫されていました。

そして今回の目的地、出雲大社を参拝し、1年の無事をお願いしました。皆様、熱心にお参りしている様子でした。

大人数での外出で、ユニットを超えた交流も出来、皆様、楽しまれたイベントとなりました。



### \*家族遠足 (女子ユニット)

7月17日(水)女子ユニットの利用者様3名とご家族様で玉造温泉に遠足に行きました。天候が心配な季節でしたが天気にも恵まれ絶好の行楽日和となりました。園に集合されたご家族様も開口一番に「お天気になってよかったです。」と仰っていました。玄関で記念撮影後、



園を出発しました。

キララ多伎にてトイレ休憩、散策を行いました。ある利用者様が、地元の方が座っていらっしゃるテーブルに腰を掛けたことをきっかけに地元の方との交流を行うことができました。

旅館では個室が準備されており個室で食事を摂りました。お母様に甘えて食事を食べさせてもらう利用者様、いつもより勢いよく食事を召し上がる利用者様、ご家族様とゆっくりと食事を楽しんでいらっしゃる利用者様、それぞれがおもいおもいに楽しい時を過ごされました。



食後は入浴を楽しまれたり個室で横になりくつろがれたりされました。

その後、宴会場でクラシックコンサートを聴きながら、ケーキバイキングを頂きました。

音楽に合わせて、身体を大きく揺らし歌を口ずさんでおられました。とても楽しそうな様子でした。

今年度はジャンボタクシー、福祉車両をチャーターしました。そのおかげで移動の車中でも利用者様、ご家族の皆様と余裕を持って楽しく関わることができました。



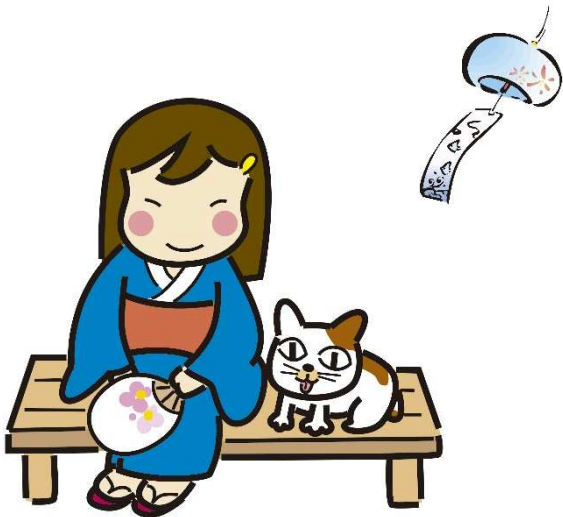
## 熱中症について

残暑お見舞い申し上げます。蒸し暑い日が続く、熱中症をおこしやすい季節が続きます。

清風園では、間食の水分補給として、ジュース類(オレンジ・ぶどう・りんご)やスポーツ飲料など準備し、お好きな飲み物を選んで頂き少しでも水分を多く取って頂けるようにしています。

脱水時の、経口補水液も各ユニットに用意し対応できるようにしています。

今後、職員一同利用者様の健康管理に注意していきます。



## 今後の行事スケジュール

- 《9月》
  - ・大田市障がい者スポーツ大会(6日)
  - ・川合町敬老会 (17日)
- 《10月》
  - ・ふれあいまつり (12日)
- 《11月》
  - ・ろうきん文化祭 (15・16日)

## 編集後記

今年度は清風園開園40周年となる節目の年です。  
開園40周年記念誌の発行に向けて、現在準備を進めております。  
秋ごろ完成予定ですので楽しみにお待ちしております。

